

寄附金は何に 使われているの？

どうやって寄附するの？

どこに連絡したらいい？

どんな事業が
実施されているの？

寄附するメリットは？



この一冊で**解決**



令和7年度
福岡市 NPO 活動推進補助金
報告書

二次元コードからも
ご覧いただけます！



はじめに

「福岡市NPO活動支援基金(愛称：あすみん夢ファンド)」へ
ご寄附いただき、ありがとうございました。

あすみん夢ファンドはNPOの公益的な活動に必要な資金を助成する
とともに、寄附を通じた社会貢献意欲を高めることにより、市民の自主
的かつ自発的な活動の促進を図ることを目的として設置しています。

令和7年度は、7, 525, 226円のご寄附をいただき、
NPO法人10団体の活動を支援することができました。

本報告書は、これらの活動について、ご寄附をいただいた方々をはじめ、
多くの皆様へお知らせするものです。

今後ともNPO法人へのご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

※NPO法人への支援額（補助金の額）は、補助年度の前年度末の基金
残高を限度とします。



目次

1 令和7年度福岡市 NPO 活動推進補助金 (五十音順)

<ファーストステップ>

■ NPO法人コトマチらいと	4
■ 特定非営利活動法人さくらピアプレイス	5
■ 特定非営利活動法人多世代交流ネットワーク協会	6
■ 特定非営利活動法人六本松心理教育臨床オフィス	7

<ステップアップ>

■ 特定非営利活動法人アジア太平洋こども会議・イン福岡	8
■ NPO法人安全・安心サポートセンター	9
■ 特定非営利活動法人福岡不登校・ひきこもり支援研究会	10
■ 特定非営利活動法人まなびや木の木	11

<基盤強化>

■ NPO法人ハッピーライド	12
■ 特定非営利活動法人福岡シュタイナー学園	13

2 福岡市 NPO 活動支援基金への寄附について

■ 福岡市 NPO 活動支援基金とは（特徴）	14
■ 寄附の方法が5種類から選べます	16
■ その他の寄附の方法	18



令和 7 年度福岡市 NPO 活動推進補助金

■ 対象団体

定款に定める事務所の所在地が福岡市内にある特定非営利活動法人(NPO 法人)

■ 対象事業

地域社会の発展に資すると認められる活動であって、NPO 法に定める 20 の分野のいずれかに該当する事業（宗教活動、政治活動または選挙活動を除く）

■ 補助金の額

<ファーストステップ>

補助対象経費の 80%以内、1 団体あたり上限 10 万円

<ステップアップ>

1 回目：補助対象経費の 80%以内、1 団体あたり上限 50 万円

2 回目：補助対象経費の 70%以内、1 団体あたり上限 50 万円

3 回目：補助対象経費の 60%以内、1 団体あたり上限 50 万円

<基盤強化>

当該団体に対する寄附に係る積立金額

■ 交付団体数

- ・ファーストステップ・・・4 団体
- ・ステップアップ・・・・・・4 団体
- ・基盤強化・・・・・・・・・2 団体



NPO 法人 コトマチらいと

～子どもが主役！夏祭りを通じて地域交流の場をつくりました～

－令和7年度補助額（ファーストステップ）：5,147 円－

団体紹介



「NPO 法人コトマチらいと」は、子どもの健全育成を目的に、遊びや体験の機会を提供する活動に取り組んでいる団体です。子どもたちが多様な経験を得られる場を創出し、体験格差の解消を目指しています。福岡市を拠点に、多世代が関わる地域づくりを推進するとともに、地域に根ざした活動を展開しています。

補助事業概要



自然体験や遊び場づくり等の 子ども健全育成に関する活動の 企画・運営事業

高宮駅前にて夏祭りを開催し、子どもを中心とした地域交流の場を創出しました。大学生が運営に関わり、子どもたちと積極的に関わることで、安心して過ごせる居場所づくりにつながりました。また、高宮地区 70 周年記念として実施した提灯への千社札貼付企画では、約 300 枚のメッセージが集まり、地域への思いや愛着を育む機会となりました。多世代が自然に交流する場として、地域コミュニティの活性化に寄与しました。

参加者の 声

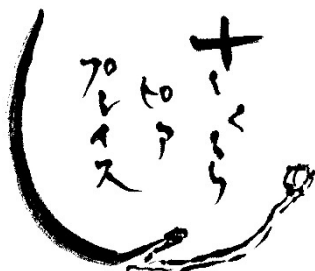
「子どもが安心して
遊べて良かった」

「子どもと関わって
貴重な経験になった」

～生きづらさを抱える若者の相談支援と居場所づくりを行いました～

—令和7年度補助額（ファーストステップ）：100,000 円—

団体紹介



令和6年3月に設立し、おおむね18歳～30代の生きづらさや働きづらさ、死にたさがある方、孤独や孤立にある方の相談、居場所、体験や交流の場、困難と仕事の両立支援などの活動をしています。令和8年度は、頼る人がいない若者の自立サポート活動を始めます。生きづらさがある当事者が集い、精神的、経済的、社会的自立を一緒に目指します。

補助事業概要



生きづらさがある若者の相談活動と居場所活動の事業

ボランティア相談員が、対面、オンライン、電話、メール、訪問などでつながって、生きづらさや孤立がある若者の仕事やこころやくらしの相談に応じます。安心して過ごせる居場所を平日夜と土日祝日の昼間に休みなく開けています。体験や交流の場として『呼吸法・瞑想ワークショップ』を実施しています。仕事の継続や生活の維持が難しくなった利用者に食料等の支援を行いました。

生きづらさはそれぞれ異なります。ひとりひとりに合った生き方を一緒に見つけましょう。

参加者の声

「ここ（さくらピアプレイス）があっ
て良かった」

「見捨てないでいてくれて、
ありがとうございます」

特定非営利活動法人 多世代交流ネットワーク協会

～e スポーツを通じた健康づくりの担い手を育成しました～

－令和7年度補助額（ファーストステップ）：76,023 円－

団体紹介



令和6年12月から特定非営利活動法人として、公民館等での高齢者のeスポーツ普及活動に取り組んでまいりました。中央区警固公民館では、毎年9月に開催される健康フェスタにおいて、eスポーツ体験として太鼓の達人やニンテンドースポーツボーリングを行っています。現在、中央区・南区・東区の社会福祉協議会と連携しながら、eスポーツボランティア養成講座を開催し、公民館及びサロンからの開催依頼が少しずつ増えている状況です。今後も福岡市での健康寿命の延伸に貢献してまいります。

補助事業概要

健康ゲーム指導士養成事業

福岡市の公民館において、健康寿命の延伸のための高齢者向けeスポーツの普及活動を行う中で、人材不足を強く感じ、健康ゲーム指導士養成講習会を開催いたしました。今回、47名が受講し、そのうち27名が医療従事者（理学療法士・作業療法士・鍼灸師・看護師・視能訓練士）でした。受講者は、病院施設等で従事しており、高齢者の健康リスクについて熟知されている方々でした。これまでの活動において、軽度認知症やパーキンソン等の疾患を抱えながら参加される高齢者も少なくないことから、即戦力となる心強いメンバーになるものと期待しています。今後、あすみん等でスキルアップ講座を重ねてあらゆる場面に対応できる健康ゲーム指導士の育成を進めることで、福岡市における健康寿命の延伸に貢献してまいります。



健康ゲーム指導士養成講座会場（6F講堂）



参加者の声

「養成講座でしたが、自分で開催するのはこれだけでは無理だなと感じました。お手伝いから入らせていただきたいです。」

「ボウリングの投げ方のコーチング方法・声かけ。接続方法は今日の講座だけでは習得できなかったなので、回を重ねる必要があるかと思った。」

特定非営利活動法人 六本松心理教育臨床オフィス

～子どもが自分らしく成長するためのメンタルサポートを行いました～

－令和7年度補助額（ファーストステップ）：2,400 円－

団体紹介



六本松心理教育臨床オフィス



六本松心理教育臨床オフィスは、あなたのところに寄りそう相談室です。
地域の皆様が笑顔で生活できるよう貢献していくことを目標として、日々活動しております。スタッフは、医療・産業・教育分野で臨床家活動を実践している臨床心理士 公認心理師です。皆様のニーズに合わせてお話を聴かせていただき、一緒に考えていきたいと思っています。

補助事業概要

子どものメンタルサポート

（子どもの心ラボ）

子ども達が周りの人から理解され、自分らしく生活ができること、また、自分の特性を理解し、その特性を活かしていきいきとした活動ができることを目指しています。

そのために、困り感を抱えるお子さんについて、検査結果を基に、保護者の方へ検査結果をお伝えし、どのような支援が必要かについて話し合いをしたり、保護者の方からの要望があった場合には、学校を訪問するなどして、担任の先生やスクールカウンセラーを交えて話し合いを行っています。



参加者の
声

「子どもの心が少し
理解できた」

「子どもの見方が変わったことで、
接し方が変わってきた」

特定非営利活動法人 アジア太平洋こども会議・イン福岡

～世界に羽ばたくグローバル人材の育成を行いました～

－令和7年度補助額（ステップアップ）：3,365,096 円－

団体紹介



つなげます。世界の夢を



世界の子ども達に対して、国際交流などに関する事業を行い、世界の子ども達が、国や地域、文化について考察し、言葉や文化・政治・宗教の違いを乗り越えて友情を育み相互理解を促進し、平和を願う豊かな国際感覚あふれる青少年の育成に寄与します。また、これらの活動を行うことで、世界の平和と共生を実現させることを目的とし、事業を企画運営しています。

補助事業概要



日本のこどもグローバル化育成プログラム

2025 年度春休みに、公募で選ばれた小学5年生から高校3年生までの計68名を、韓国、台湾、マレーシア、スリランカ、モルディブの5ヶ国・地域へ派遣しました。本事業ではグローバルな視点と相互理解の精神を養うため、事前研修を重視しました。外部講師による「チャレンジすることの大切さ」の意義を説く講話のほか、現地の事前調査、各自の目標設定、交流ツールの作成等を実施しました。こうした準備が、変化の激しい世界へ踏み出す子どもたちの背中を押し、グローバル人材として成長する確かなきっかけとなりました。

参加者の声

「外国語をがんばって勉強して、国と国をつなぐかけ橋になりたい。」

「高校生の私はリーダーシップを鍛えることができた。」

NPO 法人 安全・安心サポートセンター

～高齢者の犯罪被害や交通事故防止に関する講座を行いました～

－令和 7 年度補助額（ステップアップ）：297,186 円－

団体紹介



かつて日本の高度経済成長に貢献した皆さんは高齢者となり、全人口の 29%以上を占め、まさに超高齢化社会となっており、高齢者が各種犯罪の被害や交通事故の犠牲者となる事案が増加しています。

当 NPO は、警察 OB の有志 15 名が現職時代の知識経験を生かして、高齢者を対象とした安全安心塾での講話を通じて犯罪や交通事故の被害防止に努めています。

補助事業概要



高齢者安全安心塾

警察 OB が現職時代に培った知識や経験を生かし、犯罪や交通事故の防止に関する講話を実施しました。高齢者が、ニセ電話などの特殊詐欺や闇バイトによる凶悪事件の被害者、交通事故の被害者・加害者とならないよう、「高齢者安全安心塾」を開催し、防犯・交通安全に関する注意喚起を行いました。

参加者の安全・安心への関心は高く、参加者の 9 割以上から「大変参考になった」との声が寄せられ、犯罪被害や交通事故防止に関する知識向上と意識啓発につながりました。

参加者の声

「大変参考になった」

「定期的で開催して欲しい」

特定非営利活動法人福岡不登校・ひきこもり支援研究会

～不登校やひきこもりに悩む本人と家族の相談支援を行いました～

－令和7年度補助額（ステップアップ）：421,913 円－

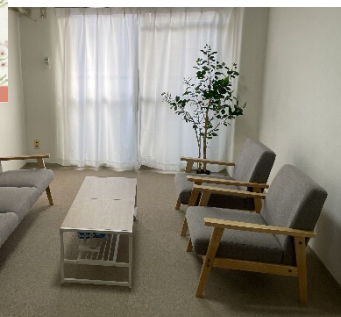
団体紹介



私たちは、不登校・ひきこもり者の家族・当事者のみなさまの「生きづらさ」に寄り添い、自分らしく豊かな人生を歩むための相談、カウンセリング、親の会、支援者交流会、講演会などを提供します。

不登校やひきこもりの時間が「自分らしい」生き方を見つけるための「豊かな時間」となり、将来への見通しと安心を手に入れられるようサポートします。

補助事業概要



不登校・ひきこもり支援事業

博多駅から5分の場所に相談室を開き、平日、土日祝、夜間を含め、毎日9:30～21:00の幅広い時間帯で相談を受け、相談者のニーズに対応しました。また、講演会や親の会では、個別相談についての情報提供を行うとともに、無料の相談会を実施し、相談員や相談の生の雰囲気を知ってもらうことで、博多相談室の個別相談に繋げるきっかけとなりました。個別相談は、約80件となり、当事者やご家族が安心して、将来の見通しを持ち、自分らしい生き方に繋がる支援となりました。

参加者の声

「気持ちが整理できて、安心できた。」

「家族の考え方や関わり方が変わった。」

特定非営利活動法人 まなびや木の木

～ひとり親家庭の親子がつながる体験活動を行いました～

－令和7年度補助額（ステップアップ）：248,209 円－

団体紹介



2015 年 10 月に活動を開始し、2025 年で 10 年が経過しました。当初は、3, 4 才児 3 名、小学生 2 名の 3 家族を対象としたひとり親家族支援でスタートしました。現在は、幼児 23 名、小学生 27 名、中学生 17 名、高校生 8 名、その他 4 名（44 家族）の支援として、毎月 1 回フードパントリー食料宅配、原則毎月 1 回一緒にご飯を食べて情報交換会、さらに 3 か月に 1 回の体験学習（年 4 回）を実施しています。もう一つの活動として、100 人カレー弥永・警固を、それぞれ毎月 1 回、弥永公民館および警固公民館で「みんなの居場所として」開催しています。また、新たな参加者の募集にも継続して取り組んでいます。

補助事業概要



ひとり親と子ども達への支援事業

ひとり親家庭の親子に、体験の機会を提供するため、能古島での自然体験、オープントップバス乗車体験、アクロスステップガーデン山登り、海の中道水族館探索、福岡市動植物園でのお花見会などを実施しました。

これらの活動を通じて、同じ悩みを抱える保護者同士の情報交換や交流を行う機会を提供し、参加者同士のつながりや絆の構築につながりました。また、継続的な見守りや相談支援を通じて、ひとり親家庭を支えるネットワークの強化にもつながりました。

参加者の声

「お船に初めて乗った！」

「小雨の中、カップを着てオープントップバスは面白かった」

NPO 法人 ハッピーライド

～団体のミッションを共有し、組織の結束力向上を図りました～

－令和7年度補助額（基盤強化）：10,000 円－

団体紹介



東日本大震災・熊本地震で現地に行き、障がい者の避難の事や移動の難しさを目の当たりにしました。多様性の共生社会を目指しながら1人でも多くの人をハッピーにするため、1つでも多くの課題を解決するために、興味のない人を振り向かせる仕掛けと目線合わせを駆使して、エンタメと対話の力で社会課題を解決しています。

補助事業概要



結束力再生プログラム

自分や他者の価値観、コミュニケーションの特徴を理解するためのPNチェックや他己紹介等のワークを実施することで、個々のメンバーを知り、相互に理解を深めることができました。物事をポジティブに捉えることや言葉の大切さなどを学んだことにより、気持ちの上での結束力が高まりました。メンバー間で感謝の気持ちも表すようになり、今後はメンバー同士の連携や協力の促進が期待されます。また、団体のミッションについて全員が理解を深めたことにより、団体全体のエネルギーやモチベーション向上につながりました。

参加者の
声

「前向きな言葉、言葉の力、普段からの言葉の大事さがよくわかった」

「PNチェックで自分のタイプがわかってよかった」

～認定 NPO 法人取得に向けた体制整備を行いました～

団体紹介



現在、保育園と初中等部があり、0歳から15歳までの子どもたちが通っています。また、今年度は新たに放課後等デイサービス・児童発達支援を立ち上げました。

認定 NPO 法人格取得のための整備事業

[illegible]

その一方で、広報戦略の基盤を整える必要性を感じ、そういった課題が明確になったことも良かったです。

参加者の声

「賛助会員の広報を通じて、
改めて広報について見直すことが
できて良かった」

「改めて事務内容を整理できて、
スッキリした。今後の様々な
引き継ぎもスムーズにできそう」

福岡市 NPO 活動支援基金 (愛称：あすみん夢ファンド) とは



「福岡市 NPO 活動支援基金 (あすみん夢ファンド)」にお寄せいただいた寄附金をもとに、NPO 法人の公益的活動に対し、補助金を交付しています。
寄附金をもとに補助金事業を実施した NPO 法人は、令和 7 年度までに延べ 202 団体になりました。



■特徴 1 寄附金の活用先を希望することができます

寄附金の活用先として、支援したい分野（福祉や教育・文化、まちづくり、子ども育成、環境などの特定非営利活動促進法で定める 20 の活動分野）や福岡市内に事務所を設置する NPO 法人を希望することができます。

※寄附金の活用先は、福岡市 NPO 活動推進補助金評価委員会の評価結果を参考に福岡市が決定します。審査の結果、ご希望に添えない場合がありますが、寄附金を返還することはできませんので、ご了承ください。

※申込時に入力欄が表示されない場合は、寄附金納付後（申込から約 3 カ月後）、市民公益活動推進課よりメールか郵送で希望調査を行いますのでご安心ください。

■特徴 2 寄附の決済方法が選べます

寄附の申し込み方法に応じて、郵便局、銀行、クレジットカード決済、コンビニエンスストア支払い、paypay、スマホキャリア決済など 17 の決済方法が選べます。すべての方法で手数料はかかりません。具体的な方法は、16 ページ、17 ページでご確認ください。

■特徴3 寄附者にとって様々なメリットがあります

個人の場合

- ① 1万円以上の寄附の場合は、寄附額に応じた返礼品を進呈します。↑返礼品のチェックはこちら
(市内居住の場合、返礼品の送付は対象外となりますので、ご注意ください。)
- ② 所得税と個人住民税から控除を受けることができます。

※所定の手続き（確定申告かワンストップ特例申請）が必要で、手続き方法によって控除される税の種類やタイミングが異なります。

手続きの詳細は、国税庁のHPをご確認ください。



←寄附金控除に関する
国税庁HPはこちら

※ワンストップ特例申請の場合、「自治体マイページ」からオンラインで簡単に、手続きが可能です。

- ③ 希望される方は、福岡市ホームページにて寄附者名を公表いたします。

企業・団体等の場合

※企業版ふるさと納税については、市HPをご確認ください。

(→市外に本社がある企業からの1回10万円以上の寄附が対象です。)



↑企業版ふるさと納税について
はこちら

- ① 寄附金は全額、損金算入できます。
- ② 地域社会へ貢献することができ、SDGsへの取り組みとして位置づけられます。
- ③ 福岡市ホームページへの掲載による、企業のPR効果が期待できます。

企業・団体等のロゴやホームページのリンクを貼ることも可能です。

(公表を希望しない場合には掲載しません)

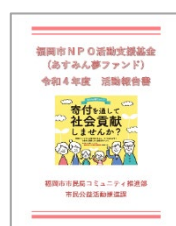
<掲載イメージ>



「あすみん」マネジメントグループ 様、福岡環境整備株式会社 様、
福岡市教職員組合 様、特定非営利活動法人日本入れ歯リサイクル協会 様、
福岡中央児童会館等建替え整備事業株式会社 様

個人・企業・団体等共通

- ・ 寄附金を活用して事業を行った福岡市のNPO法人の活動報告書（本報告書）を郵送します。



↑これまでの報告書はこちら

寄附の方法が5種類から選べます！

個人の場合：

以下の①から⑤の方法で寄附していただけます。

（①②の方法でも返礼品をお受け取りいただけます！）

企業・団体等の場合：

以下の①、②、及び③のうち「ふるさとチョイス」、⑤の方法で寄附していただけます。

① 福岡市電子申請システム

② 担当課へ電話（福岡市市民公益活動推進課 092-711-4283）



①②共通：

↑①福岡市電子申請システム

〔決済方法〕 銀行振り込みかコンビニエンスストア払い

※払込書1枚あたり30万円以下でバーコードの印字がある場合のみコンビニ払い可

〔申込受付期間〕

・ワンストップ特例申請を利用する方：1月1日から9月30日

・確定申告をする方：1月1日から12月15日

※上記期間外にお申込みをご希望の場合は、③ふるさと納税ポータルサイトからお申込みください。

お申込み後、払込書を郵送いたしますので、銀行等でお振込みをお願いします。

③ ふるさと納税ポータルサイト

〔決済方法〕 クレジットカード決済、paypay、スマホキャリア決済など17種類

※サイトによって使用可能な決済方法が異なります。

【重要】各サイトからのお申込み時に、「寄附金の使い道」で

「NPO活動支援（あすみんな夢ファンド）」を選択してください。



↑③ポータルサイト

④ 福岡市コールセンターへのお電話（0120-397-613）

〔決済方法〕 郵便局振込

下記までお電話ください。返礼品リスト及び申込書一式が届きますので、申込書に氏名・住所・お電話番号・ご希望の返礼品等をご記入の上、ご返送ください。

【福岡市コールセンター】

0120-397-613（受付：9:00～18:00、定休日：12月30日から1月3日）

⑤ あすみん夢ファンド自動販売機(寄附付き自動販売機)の設置・利用

〔決済方法〕 銀行振り込みかコンビニエンスストア払い

※払込書 1 枚あたり 30 万円以下でバーコードの印字がある場合のみコンビニ払い可

設置された自動販売機の売上から得られる手数料の一部または全額を、寄附いただく仕組みです。自動販売機の設置者となるほか、既に設置されている寄附付き自動販売機から飲料等を購入することで寄附ができます。現在は、企業・団体の設置者のみですが、個人での設置も可能です。

【自動販売機設置協力会社】

- ・ 高原ミネラル株式会社 様
- ・ コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 様
- ・ 大塚製薬株式会社 様



↑あすみん夢ファンド自動販売機
についての詳細はこちら

ご検討の際は、市民公益活動推進課までお気軽にご連絡ください。

連絡先：092-711-4283

自動販売機設置者の皆さま（令和8年8月末時点）

- ・ 「あすみん」 マネジメントグループ 様
（特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所 様 / 株式会社ミカサ 様）
- ・ 株式会社環境開発 様
- ・ 株式会社愛しとーと 様
- ・ 福岡環境整備株式会社様
- ・ 株式会社オオツカ・ガスエンジニアリング 様
- ・ 福岡中央児童会館等建替え整備事業株式会社 様
- ・ 西部ガス建設株式会社 様
- ・ 株式会社アーウィン（ドリームステージ） 様
- ・ まつい・平建設工事共同企業体 様
（株式会社まつい工務店 様/株式会社平組 様）



その他の寄附の方法

福岡市のご当地 WAON を使う

2011 年に締結した「地域共働事業に関する包括連携協定」をもとに、全国の WAON 加盟店で利用できる電子マネー「**FUKUOKA OMOIYARI KIDS WAON**」のご利用額の 0.1 % を、イオン九州株式会社様より寄附いただいています。

全国の WAON 加盟店どこで利用しても
あすみん夢ファンドに寄附されます。



<FUKUOKA OMOIYARI KIDS WAON>

不要になった入れ歯やアクセサリーを活用する

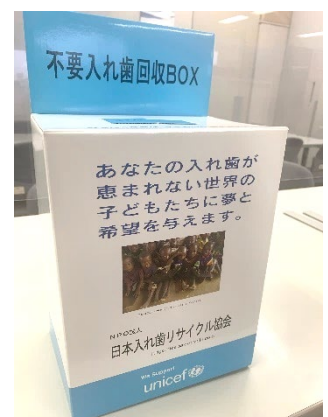
特定非営利活動法人日本入れ歯リサイクル協会様との協定をもとに、市内 12 か所に回収ボックスを設置しています。回収した不要入れ歯やアクセサリーに含まれる貴金属をリサイクルすることによって得られる収益の 40 % が、あすみん夢ファンドに寄附されます。



↑詳細はこちら

回収ボックス設置場所

- ①福岡市役所本庁舎：7 階市民公益活動推進課
- ②東区社会福祉協議会：窓口
- ③博多区社会福祉協議会：事務所内 ※職員にお声掛けください
- ④中央区社会福祉協議会：事務所内 ※職員にお声掛けください
- ⑤南区社会福祉協議会：窓口
- ⑥城南区社会福祉協議会：窓口
- ⑦早良区社会福祉協議会：窓口
- ⑧西区社会福祉協議会：事務所内 ※職員にお声掛けください
- ⑨西部出張所：1 階 3 番窓口 ※職員にお声掛けください
- ⑩入部出張所：1 階 1 番窓口 ※職員にお声掛けください
- ⑪ N P O ・ ボランティア交流センター（あすみん）：ミーティングコーナー
- ⑫葬祭場：受付





福岡市NPO活動支援基金(あすみんな夢ファンド)

令和7年度活動報告書

令和8年10月発行

<発行者・問い合わせ先>

福岡市市民局コミュニティ推進部市民公益活動推進課

〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号

電話：092-711-4283 FAX：092-733-5768

メール：koeki.CAB@city.fukuoka.lg.jp